

令和 7 年度 寺社平林道改良工事

(R7補正)

設 計 図

分 類	林 道		規 格	2種2級
位 置	群馬県吾妻郡中之条町大字四万字 四万国有林6林班る1小班外			
延 長	36.0 ^m		国有林内	36.0 ^m
			国有林外	- ^m
巾 員	3.60 ^m		最小半径	16.0 ^m
勾 配	最 急	平 均	設 計 荷 重	T-25
	4.67 %	4.67 %		

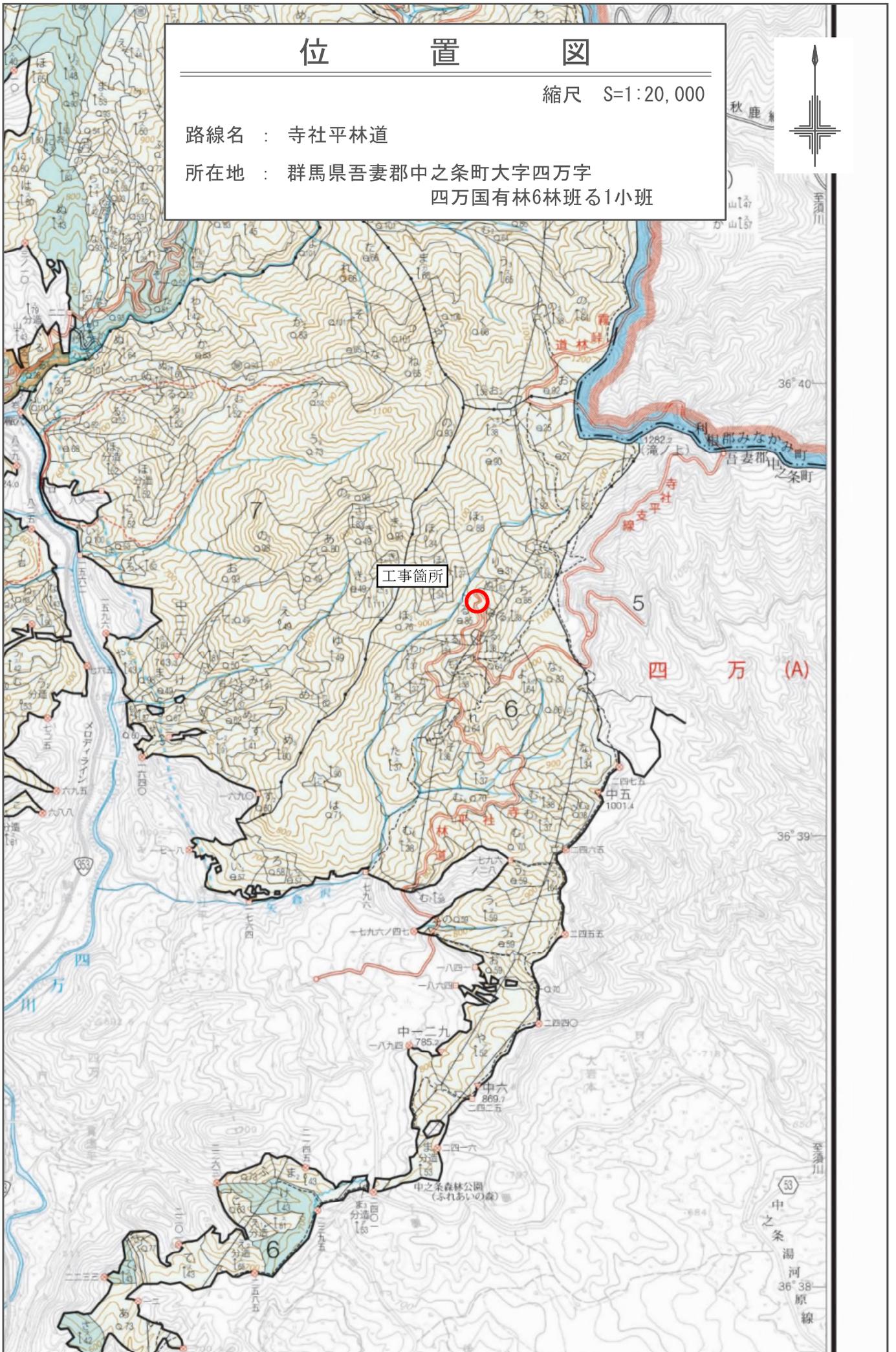
吾妻森林管理署

位 置 図

縮尺 S=1:20,000

路線名 : 寺社平林道

所在地 : 群馬県吾妻郡中之条町大字四万字
四万国有林6林班る1小班

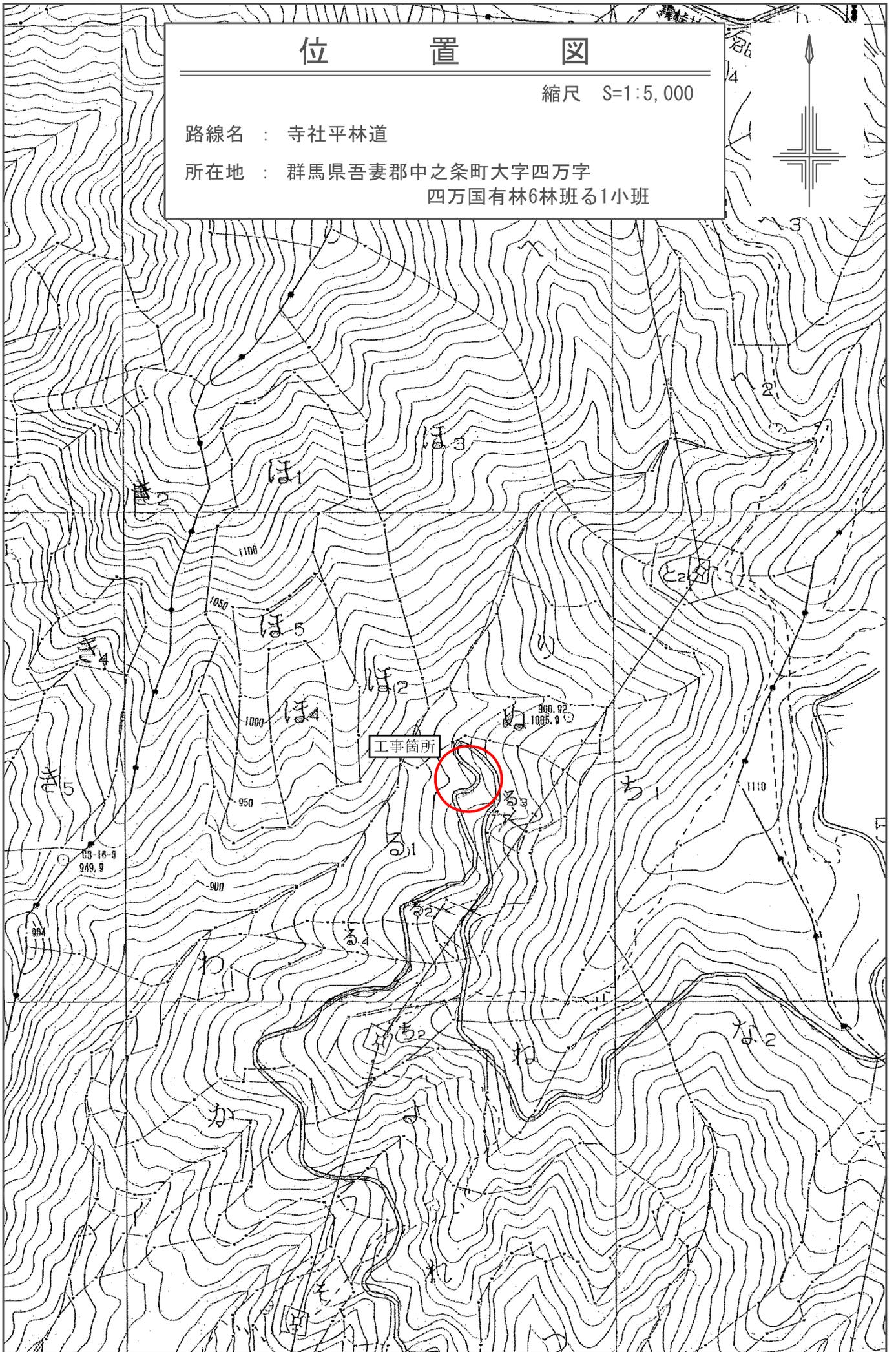
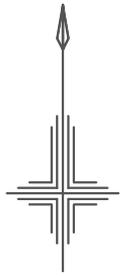


位置図

縮尺 S=1:5,000

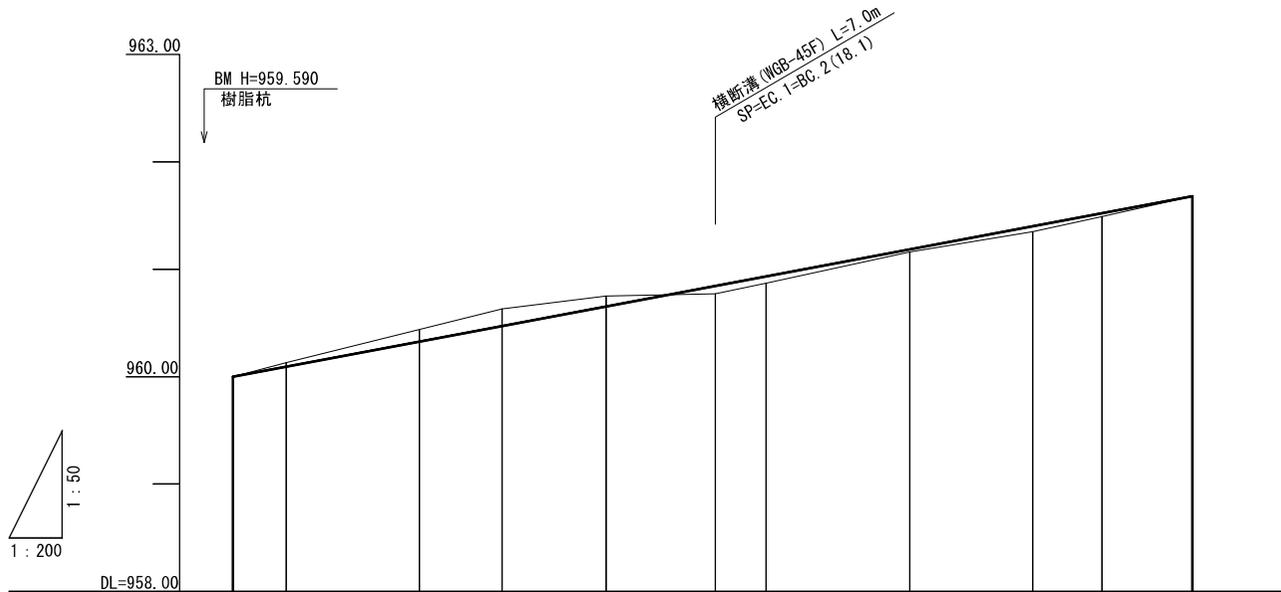
路線名 : 寺社平林道

所在地 : 群馬県吾妻郡中之条町大字四万字
四万国有林6林班る1小班



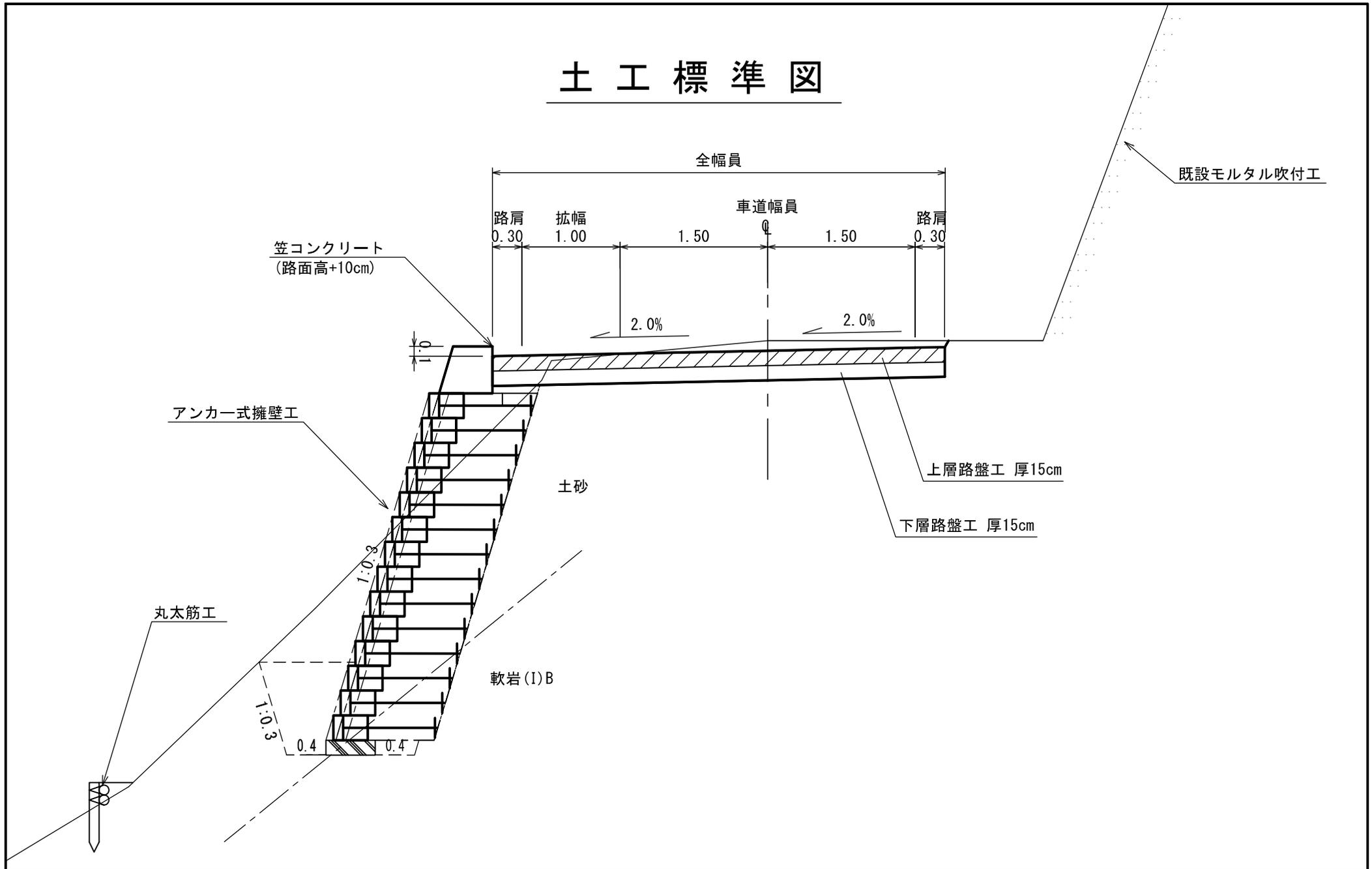
縦断面図

縮尺 縦 1:50
横 1:200



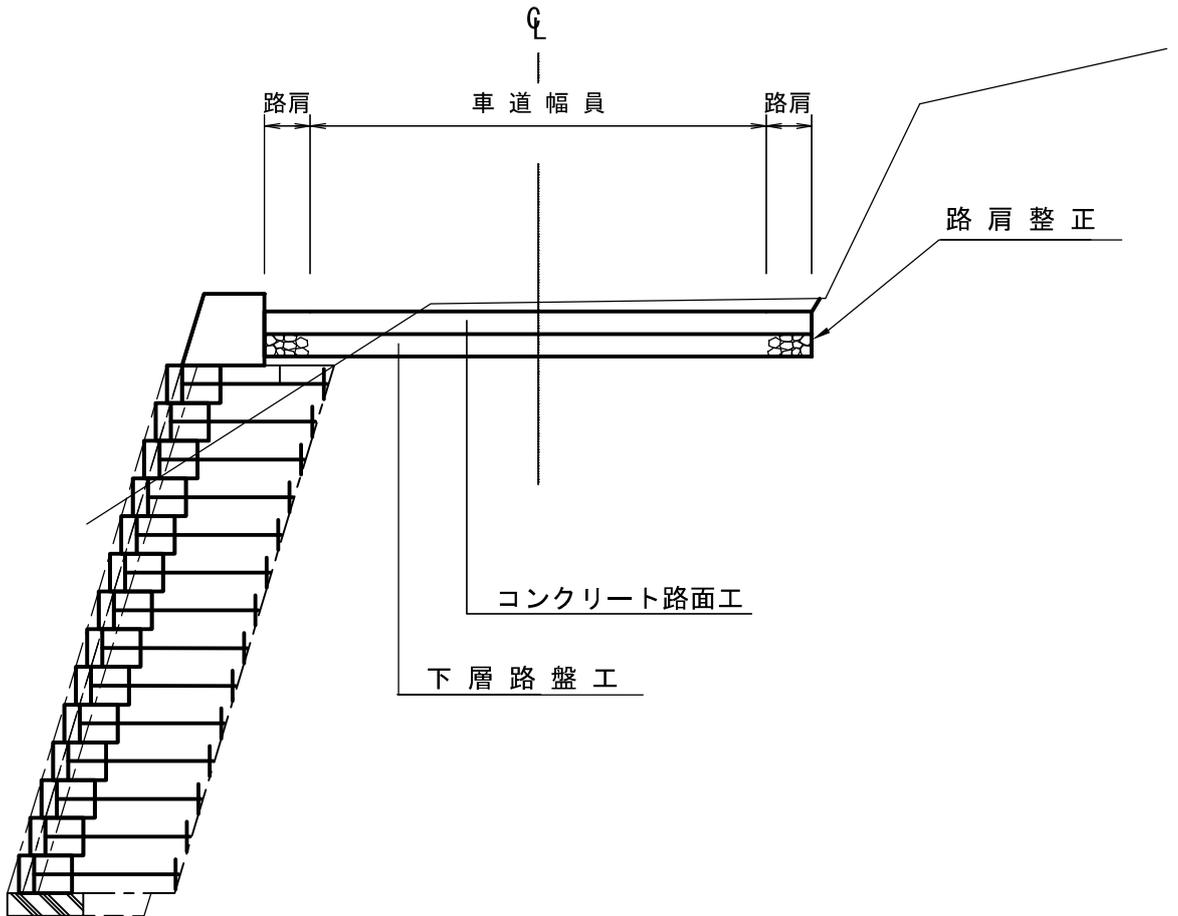
勾配												
盛土高	0.00					0.07	0.06		0.03	0.05	0.03	0.00
切土高	0.00	0.04	0.11	0.16	0.10							0.00
計画高	960.00	960.09	960.33	960.47	960.65	960.84	960.93		961.19	961.40	961.52	961.68
地盤高	960.00	960.13	960.44	960.63	960.75	960.77	960.87		961.16	961.35	961.49	961.68
追加距離	0.0	2.0	7.0	10.1	14.0	18.1	20.0		25.4	30.0	32.6	36.0
単距離	0.0	2.0	5.0	3.1	3.9	4.1	1.9		5.4	4.6	2.6	3.4
測点番号	BP=0.0	BC.1		MC.1		EC.1 =B.C2			MC.2		EC.2	EP=36.0
曲線				IP.1 R=16.0					IP.2 R=16.0			

土工標準図



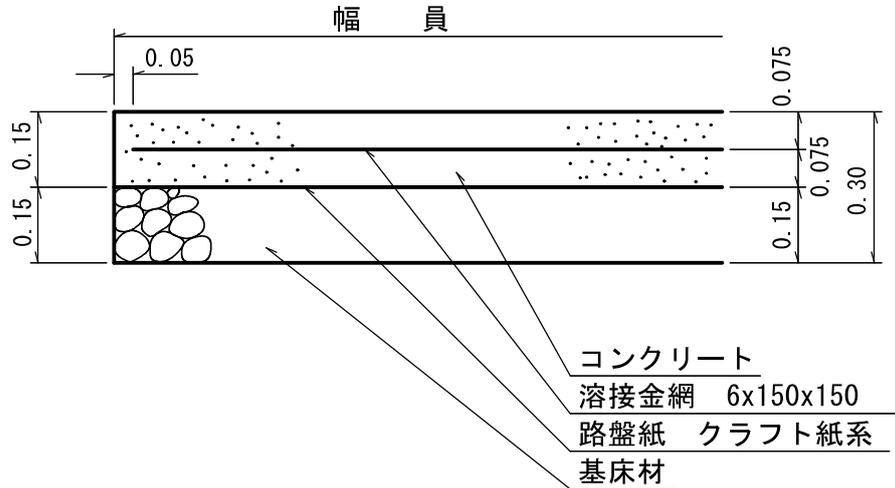
路 肩 整 正

S=1:50



コンクリート路面工標準図

S=1:free



100m²当り

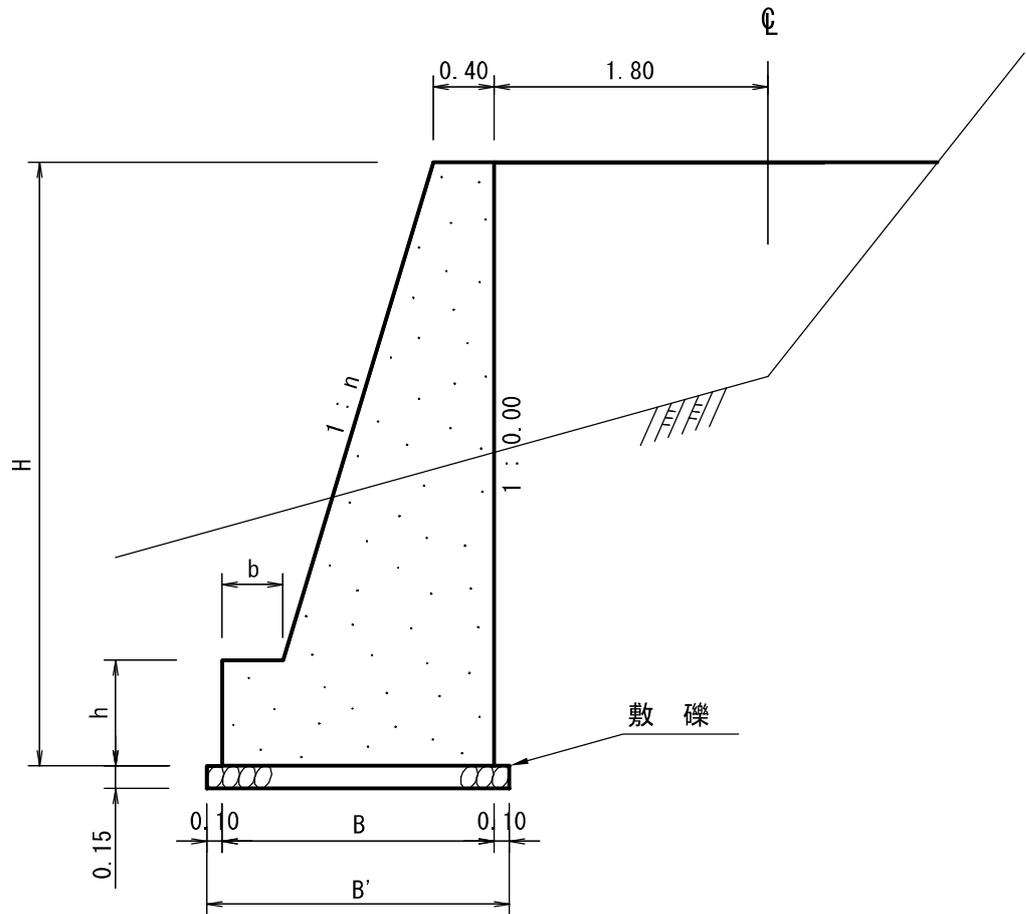
材 料 表		
名 称	数 量	品 質・規 格
コンクリート	15.00m ³	21-8-25(40)
路 盤 紙	100.00m ²	クラフト紙系
路 盤 工	15.00m ³	クラッシュラン C-40
溶 接 金 網	100.00m ²	6x150x150
やむを得ず18-5-40を使用する場合は コンクリート厚 0.20 mとする。		

目地材設置に当たっては、延長方向10m間隔で設置することを標準とする。

重力式コンクリート擁壁工

S=1:free

GW-L-I



寸法表

設計区分 (b-S)

設計区分 (b-R)

H	n	B	b	h	B'	H	n	B	b	h
2.000	0.150	0.940	0.300	0.400	1.140	2.000	0.150	0.940	0.300	0.400
2.500	0.200	1.100	0.300	0.500	1.300	2.500	0.150	1.000	0.300	0.500
3.000	0.200	1.200	0.300	0.500	1.400	3.000	0.200	1.200	0.300	0.500
3.500	0.200	1.380	0.400	0.600	1.580	3.500	0.200	1.300	0.300	0.500
4.000	0.250	1.700	0.450	0.600	1.900	4.000	0.200	1.450	0.350	0.500
4.500	0.250	1.800	0.450	0.700	2.000	4.500	0.250	1.750	0.350	0.500
5.000	0.300	2.110	0.450	0.800	2.310	5.000	0.250	1.850	0.350	0.600
5.500	0.300	2.260	0.450	0.800	2.460	5.500	0.250	2.000	0.400	0.700
6.000	0.300	2.410	0.450	0.800	2.610	6.000	0.250	2.100	0.400	0.800
6.500	0.300	2.560	0.450	0.800	2.760	6.500	0.250	2.200	0.400	0.900
7.000	0.300	2.710	0.450	0.800	2.910	7.000	0.250	2.450	0.550	1.000
7.500	0.300	2.860	0.450	0.800	3.060	7.500	0.250	2.600	0.600	1.100
8.000	0.300	2.980	0.450	0.900	3.180	8.000	0.250	2.750	0.650	1.200

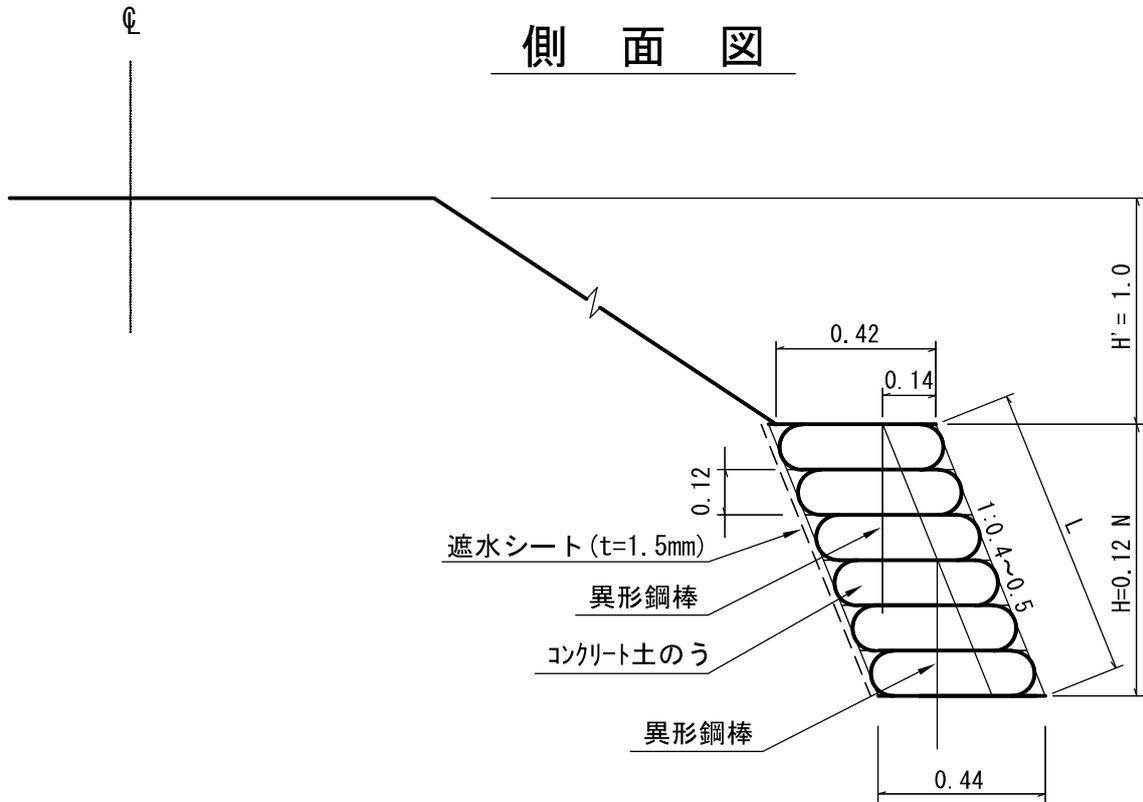
注) b-Rの場合は敷磔は設計しない。

コンクリート土のう積工

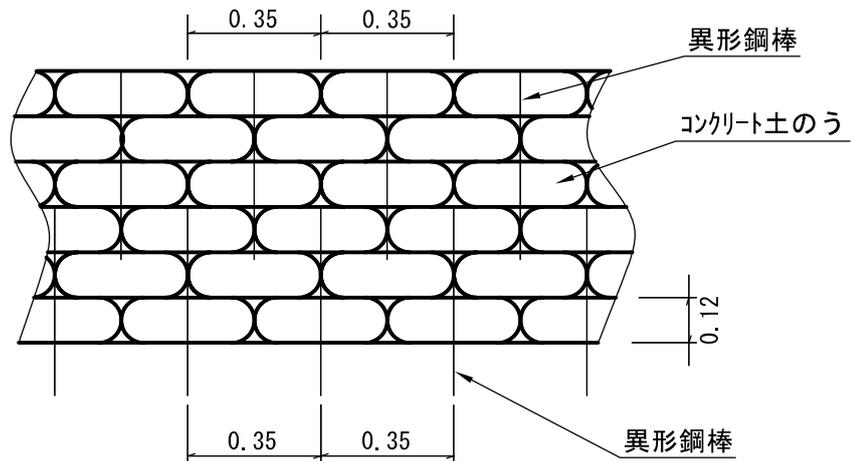
(排水施設呑口部に適用)

S=1:20

側面図



正面図



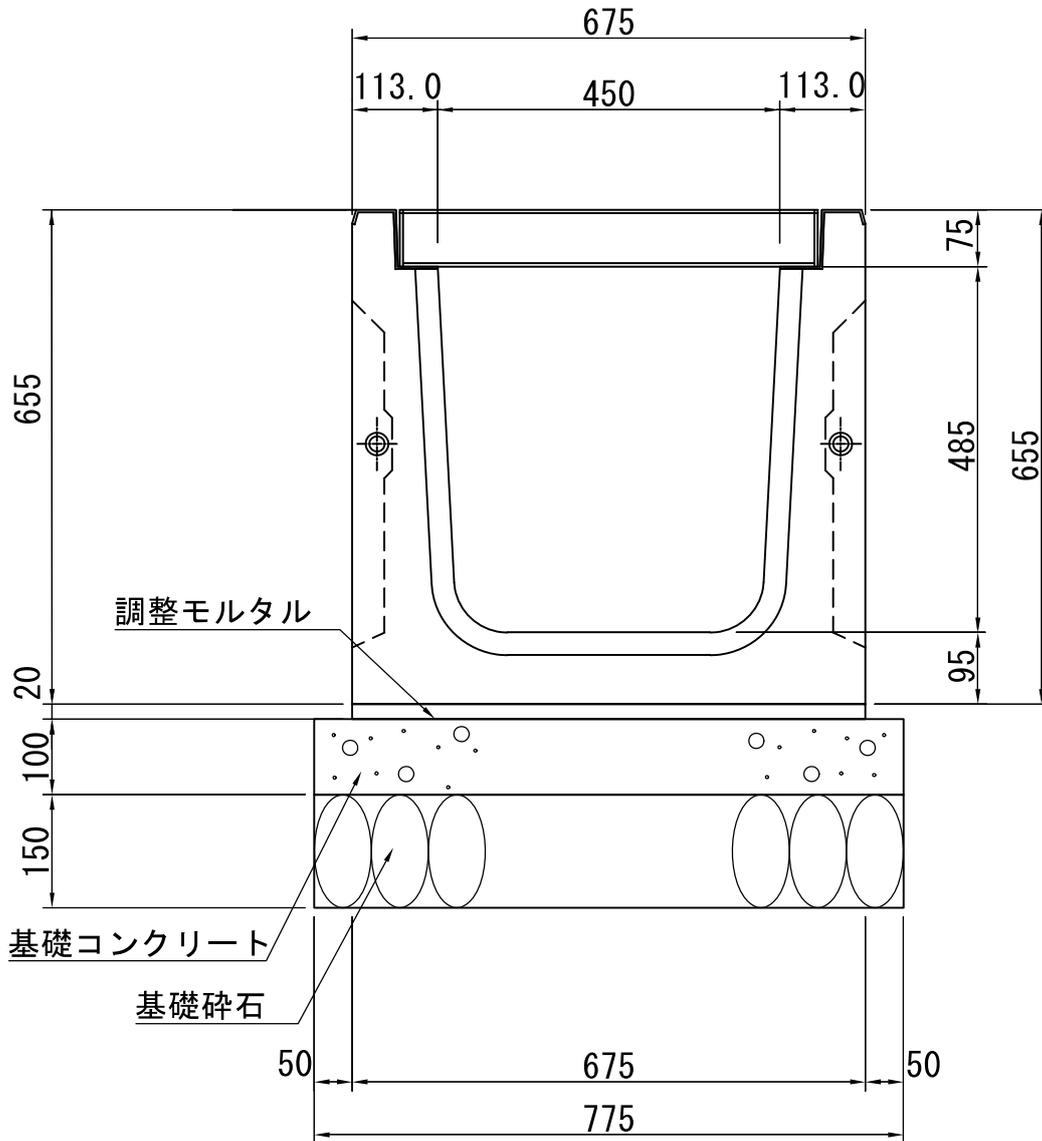
材料表

10m²当り

名称	規格・寸法	単位	4分数量	5分数量	適要
積高 H		m	1.5以下	2.5以下	
土のう	700x480	袋	221	213	
コンクリート	18-8-25	m ³	4.0	3.8	
鉄筋	SD-295A	Kg	36	35	D13 L500
遮水シート	t=1.5mm	m ²	10.0	10.0	

横断溝 (450 × 485)

S=1:10 (単位mm)



材料表

(10.0m当り)

名称	規格	計算式	単位	数量	備考
横断溝	450 × 485	$10.0 \div 2.0\text{m/本}$	本	5.0	
グレーチング蓋 (4点固定)	75x995x550	$10.0 \div 1.0\text{m/本}$	枚	10.0	
敷モルタル	1:3	$0.675 \times 0.020 \times 10.0$	m ³	0.135	
均しコンクリート (t=100)	18-8-25	0.775×10.0	m ²	7.75	t=10cm, V=0.78m ³
同上型枠		$0.100 \times 2 \times 10.0$	m ²	2.00	
基礎材 (t=150)	RC-40	0.775×10.0	m ²	7.75	t=15cm, V=1.16m ³
床掘			m ³	9.0	

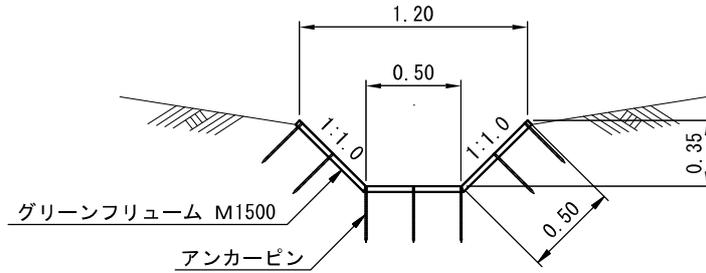
本体 W=7,987N (815kg)
 グレーチング W=536.1N (54.7kg)

緑化水路工

S=1:40

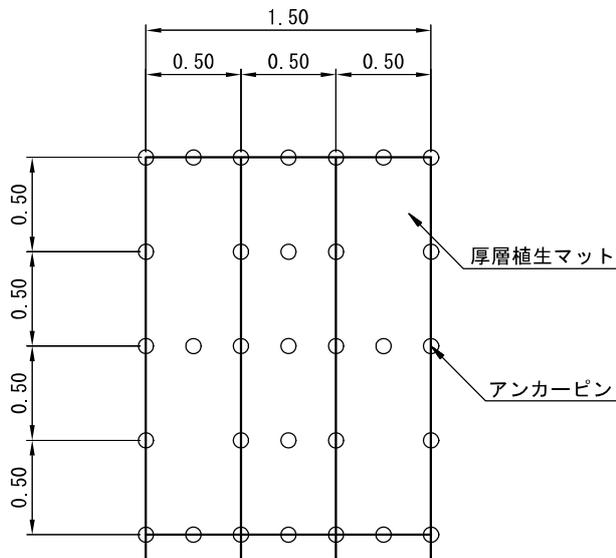
グリーンフリューム M1500 相当

断面図



注1) : 上記断面形状は一例であり、幅1.5mのマットを使用し、仕上げることでできる断面であれば、幅や深さを変更することが可能です。

展開図



注2) : 植生マットの上下接続部は、上側のマットの下に、下側のマットがくるよう重ね合わせを行って下さい。

注3) : マットの重ね合わせについては、縦方向10cm以上を目安に施工を行って下さい。

材料表

10m当たり

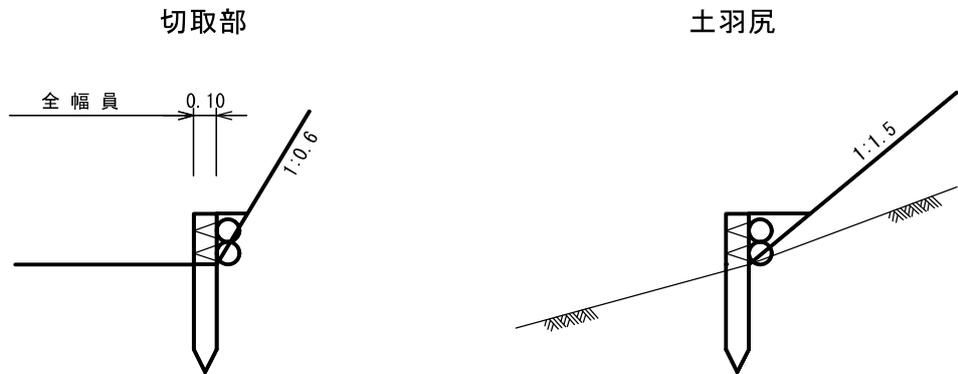
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
厚層植生マット (グリーンフリュームM1500 相当)	幅1.5m × 長さ3.0m	m	10.5	ロス率 1.05
アンカーピン	D10×300mm	本	127	

注4) : 現場状況に応じて、マットのロス率、固定具の仕様を変更して下さい。

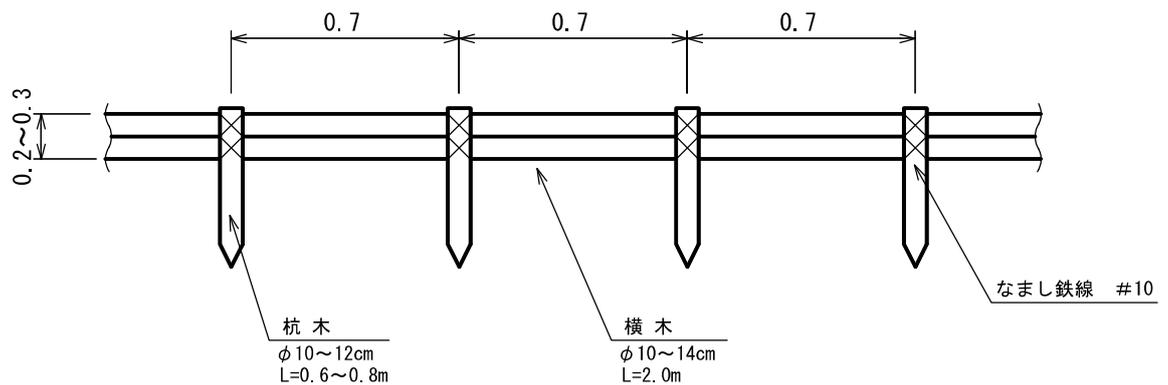
丸太筋工

S=1:Free

側面図



正面図



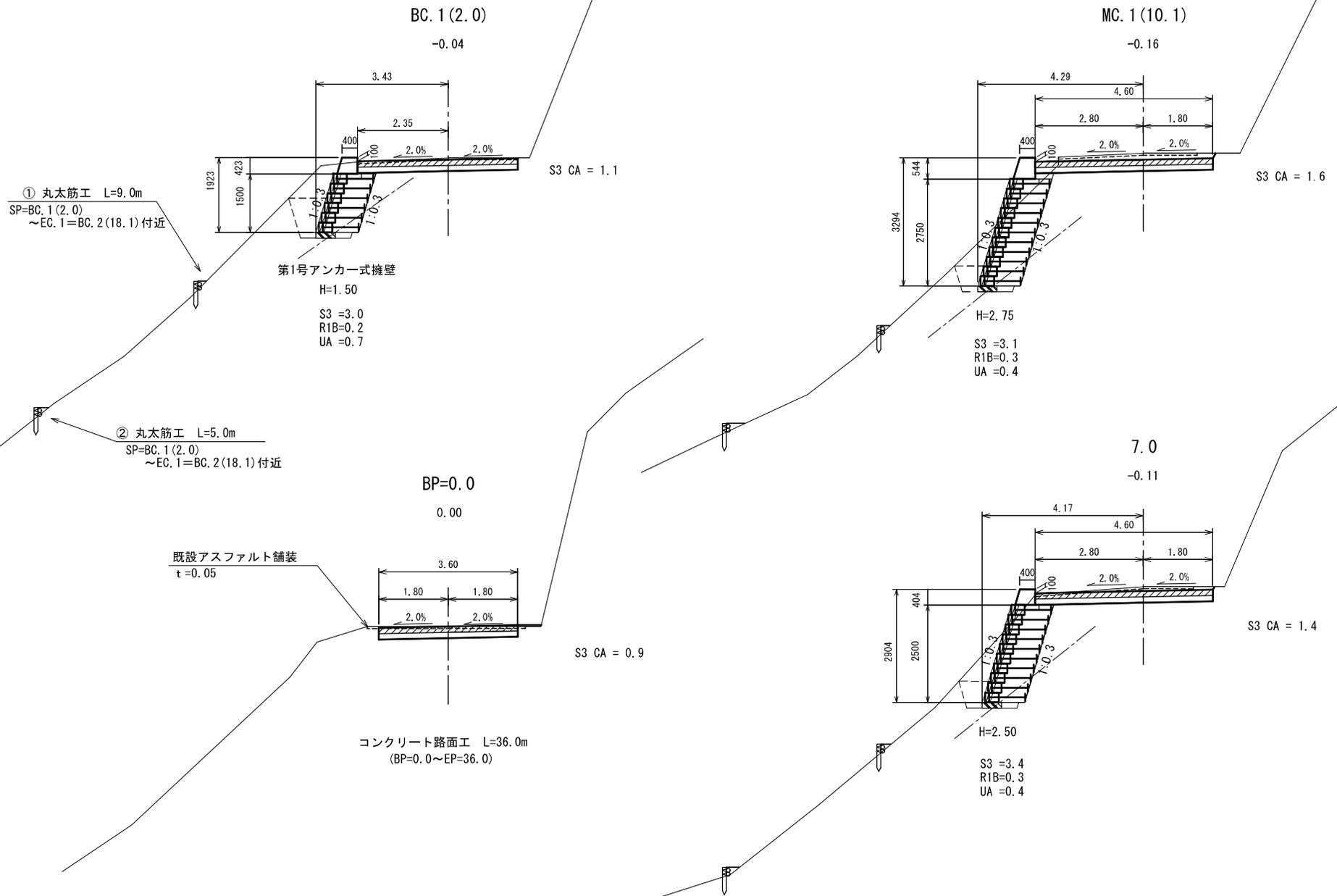
材料表

(10m当たり)

名称	規格・寸法	数量	備考
横木	末口径 0.10×2.00長	10本	
止め杭	末口径 0.10×0.6~0.7長	15本	
鉄線	#10m	2.71 kg	1ヶ所当たり1.5m使用

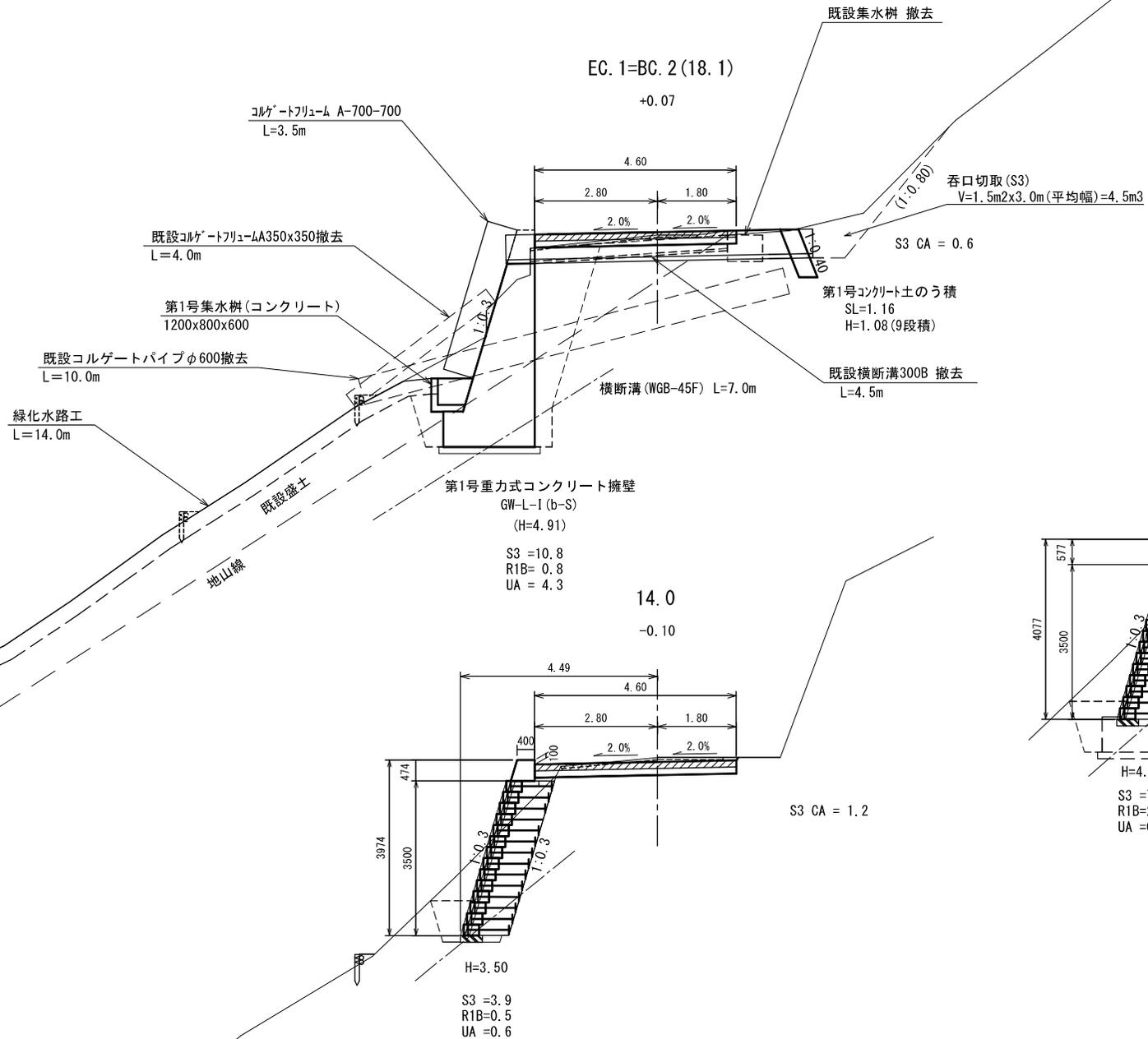
横断面図

縮尺 1:100

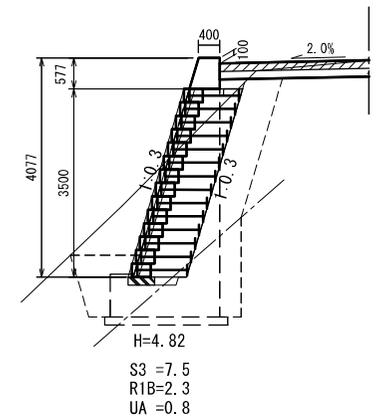


横断面図

縮尺 1:100

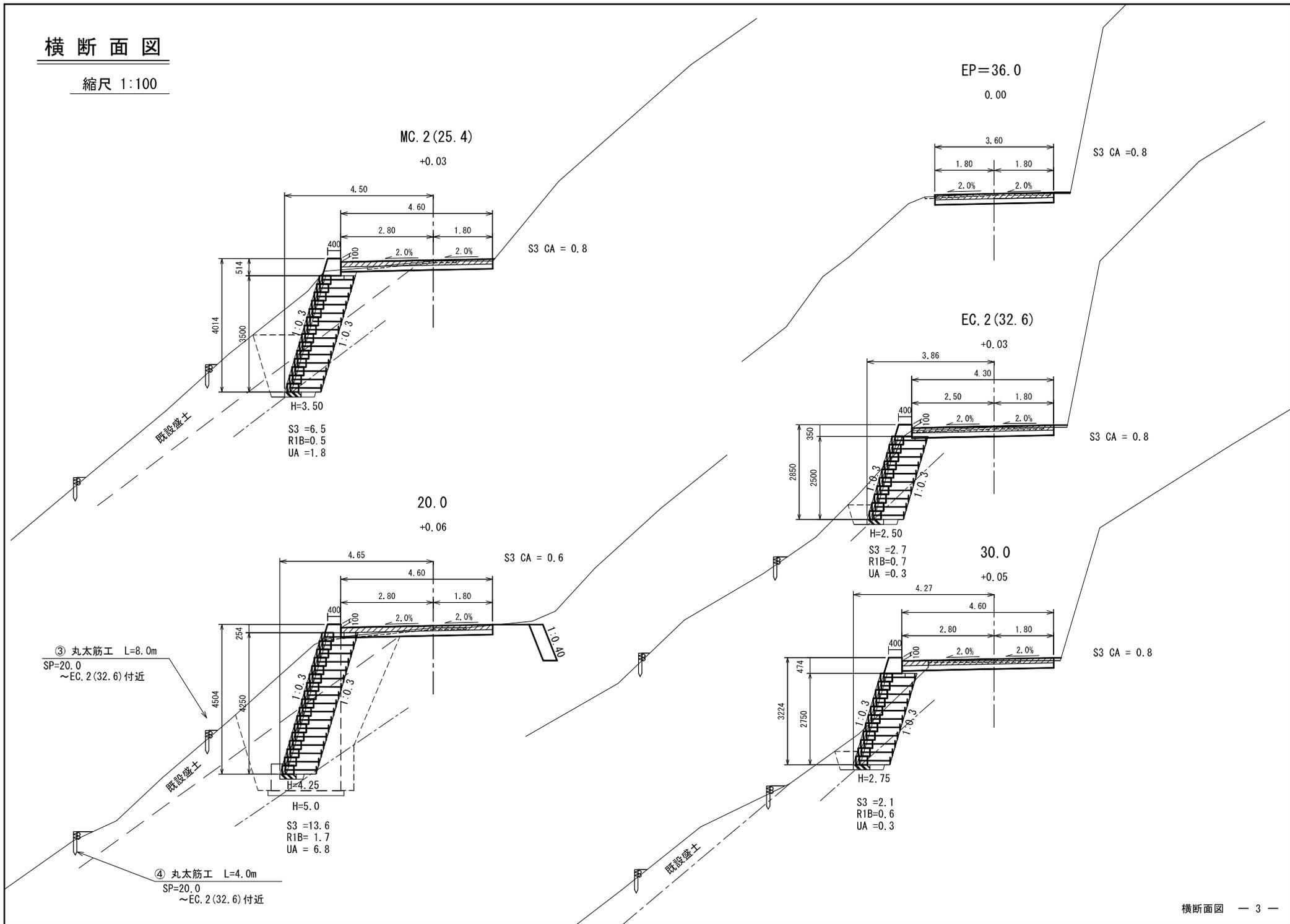


A断面(GW端断面)



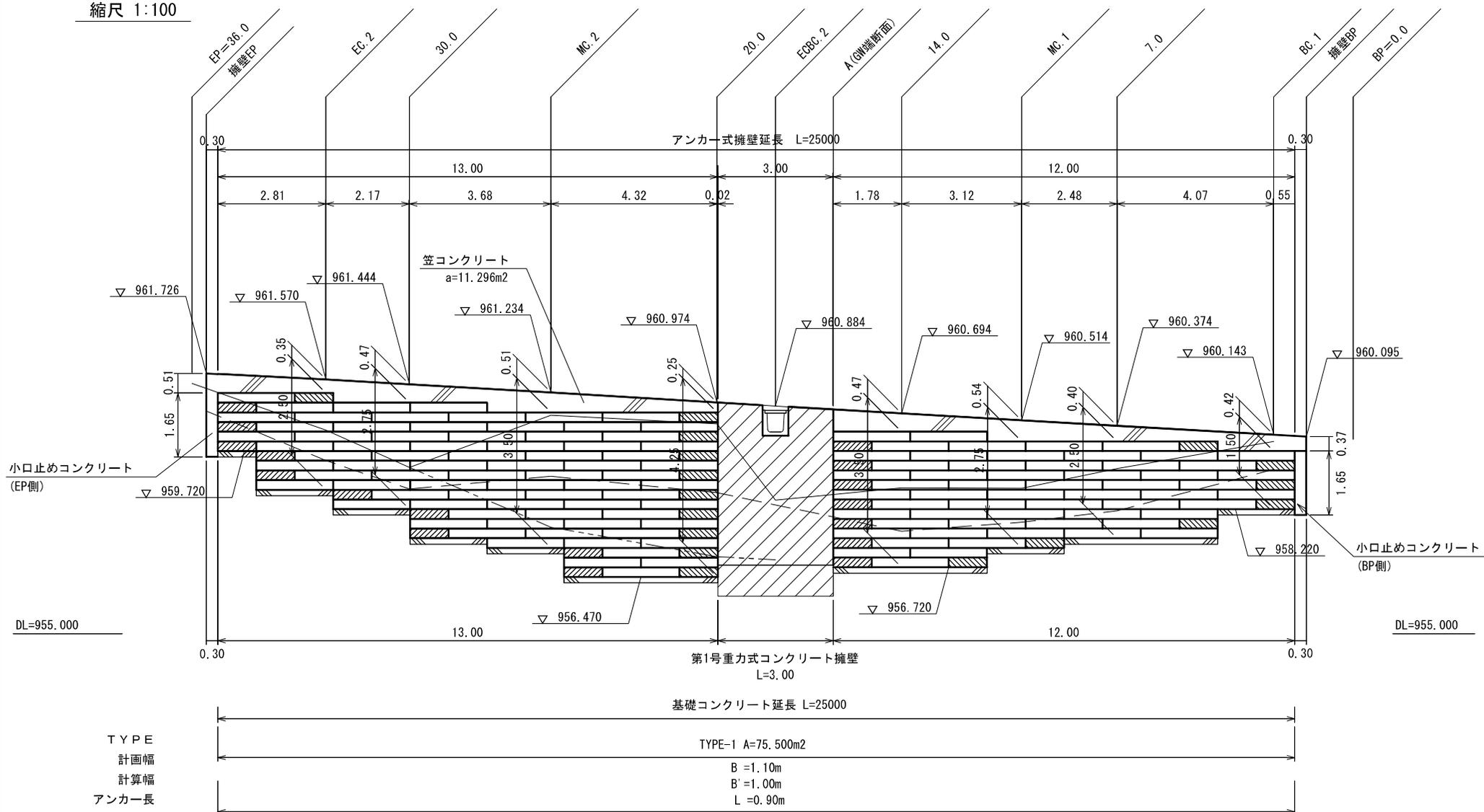
横断面図

縮尺 1:100



展開図

縮尺 1:100

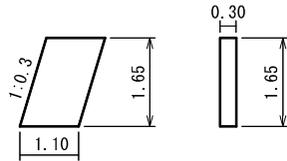


- 注:
- は、現況地盤線を表す。
 - - - は、埋戻し線を表す。
 - は、標準ブロックを示す。
 - ▨ は、左端部ブロックを示す。
 - ▩ は、右端部ブロックを示す。
- 展開図 - 1 -

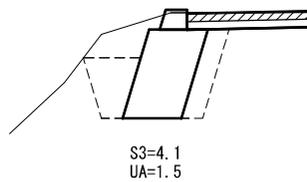
展開図

縮尺 1:100

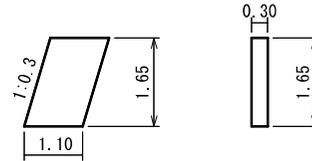
小口止工詳細図 (BP側)



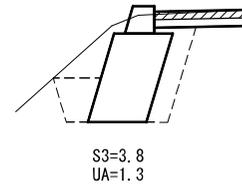
端断面 (BP) 床掘図



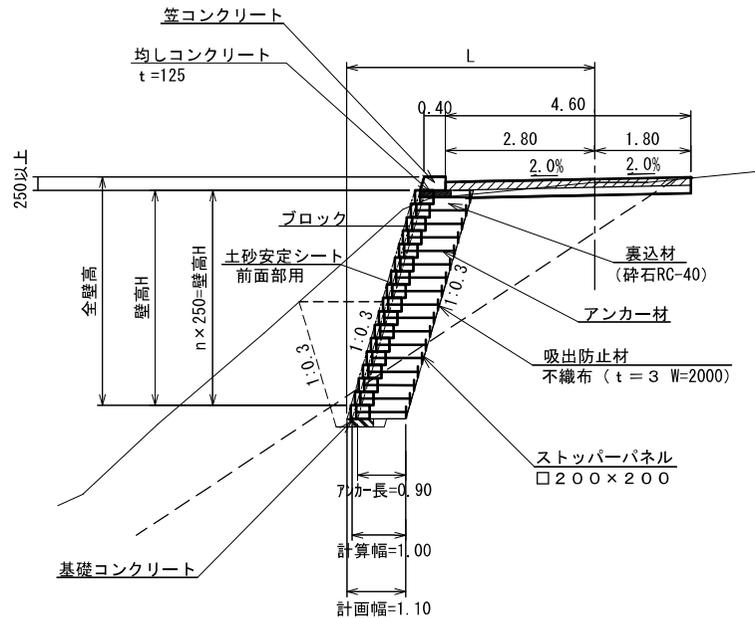
小口止工詳細図 (EP側)



端断面 (EP) 床掘図



標準断面図



設計条件

土質定数	裏込材	背面土
盛土材の単位体積重量	$\gamma = 20 \text{ kN/m}^3$	$\gamma = 18 \text{ kN/m}^3$
盛土材の内部摩擦角	$\phi = 35^\circ$	$\phi = 35^\circ$
盛土材の粘着力	$C = 0 \text{ kN/m}^2$	$C = 0 \text{ kN/m}^2$
活荷重	$q L = 10 \text{ kN/m}^2$	
雪荷重	考慮しない	
設計水平震度	考慮しない	
擬似擁壁の外的安定	単位	常時
地盤反力	kN/m^2	$Q1=141.528$
支持力の安全率	$F_s \geq 3.0$	
必要な極限支持力	kN/m^2	$q_u=424.584$
		地震時

特記事項

- 盛土材は以下に示す土質材料もしくは岩石質材料を使用すること。
 (土質材料) : 細粒分の含有量が 25 % 以下のもの。
 (岩石質材料) : 最大粒径が 200mm 以下の硬岩ずり、もしくはスレーキング率 30% 以下の軟岩ずりで、細粒分の含有量が 25 % 以下のもの。
- 施工時に補強土壁背後の掘削面に湧水が確認された場合は、設計図に示された排水工とは別に排水対策を施すこと。
- 基礎地盤の極限支持力が、上記の必要な極限支持力以上であることを確認すること。

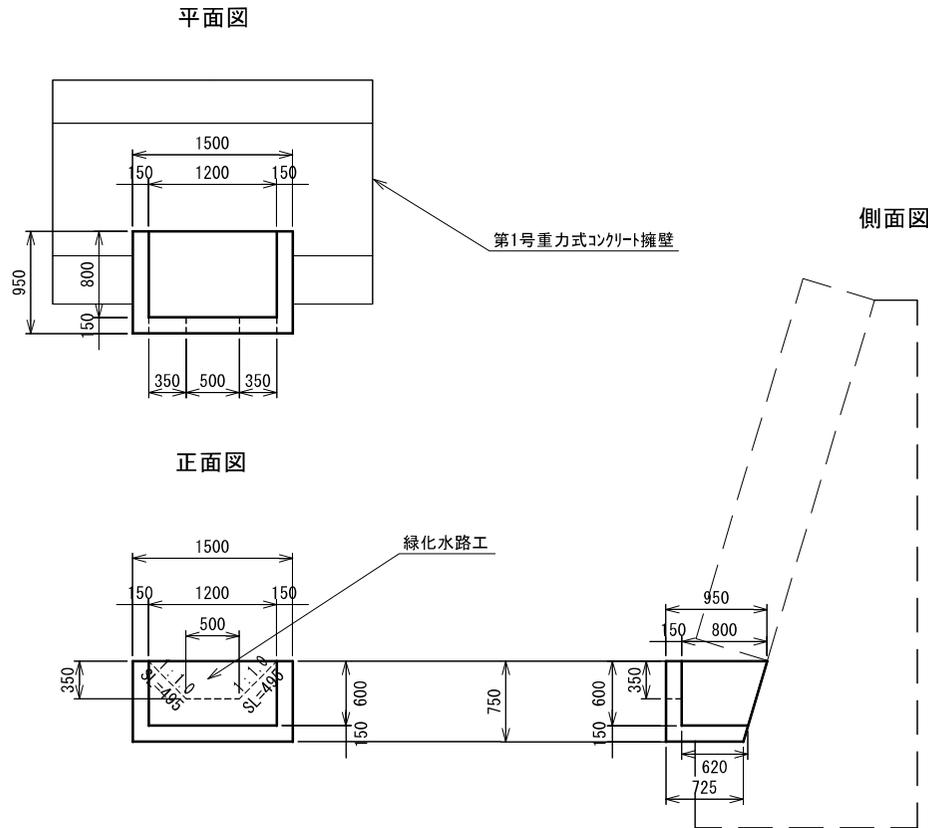
施工管理基準値

項目 (頻度)	
盛土材の締固め度 (盛土材 500m ³ に 1回)	<ul style="list-style-type: none"> JIS A 1210のA, B法による最大乾燥密度の95%以上又は、C, D, E法による90%以上とする。 細粒分含有量が多い場合 (20%以上) で上記締固め度が得られない場合は、空気間隙率を13%以下とする。 岩石質盛土材の場合は、工法規定方式で管理するものとする。

集水樹構造図

縮尺 1:50

第1号集水樹(コンクリート) 1200x800x600



集水樹
内径(1200×800×600)

コンクリート

$$\begin{aligned} & (0.95 + 0.725) / 2 \times 0.75 \times 1.50 = 0.94 \\ & - (0.80 + 0.62) / 2 \times 0.60 \times 1.20 = -0.51 \\ & - (1.20 + 0.50) / 2 \times 0.35 \times 0.15 = -0.04 \\ \hline & 0.39 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

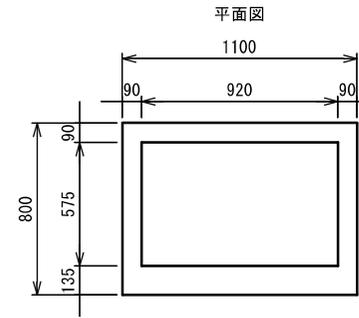
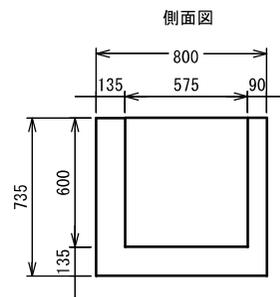
型 枠

$$\begin{aligned} & (0.95 + 0.725) / 2 \times 0.75 \times 2 = 1.26 \\ & (0.80 + 0.62) / 2 \times 0.60 \times 2 = 0.85 \\ & 1.50 \times 0.75 \times 1 = 1.13 \\ & 1.20 \times 0.60 \times 1 = 0.72 \\ & + 0.495 \times 0.15 \times 2 = 0.15 \\ & - (1.20 + 0.50) / 2 \times 0.35 \times 2 = -0.60 \\ \hline & 3.51 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

取壊し・撤去図

既設集水柵(鉄筋コンクリート)

縮尺 1:25



既設集水柵(コンクリート)取壊し

$V=1.10 \times 0.80 \times 0.735 - 0.92 \times 0.575 \times 0.60 = 0.3m^3$

